

☑ 決裁 ○ 供覧

※決裁区分については、決裁権者の欄の()内に☑をつけること。

文書番号 取 福 発 第 号

市 長 ()	副 市 長 ()	部 長 (☑)	次 長	課 長 (☑)	課長補佐	係 長
		稲葉	飯野	飯野	松崎	倉田 海崎

合 議	起 案	2 . 6 . 26
	施 行 予 定	2 . 6 . 26
	決 裁 (関 了)	2 . 6 . 26
	完 結	2 . 6 . 26

あて先	発信者名
-----	------

件 名

令和2年度 保育行政推進検討委員会(第1回)の会議報告書について

上記のことについて別記のとおり

照会 回答 報告 実施 してよろしいか伺います。

申請 通知 決定 します。

個別フォルダー名	保存期間	永年 10年 5年 3年 1年
----------	------	-------------------------

施行取扱上の注意 保育係回覧 井上 井上 若山 素川 間中 渡部 大塚 中島 間根 横山 安藤	起 案 者	福祉 部
		子育て支援 課(所)
		保 育 係(室)
	氏 名	山本 宇類 (類)

会議報告書

会議名 / 令和2年度 保育行政推進検討委員会（第1回）
 日時 / 令和2年6月24日（水） 13:30～15:05
 場所 / 取手市役所 301会議室

出席委員 / 委員長・・・福祉部長 稲葉芳弘
 （敬称略） 副委員長・・・福祉部次長 飯野恵久子
 委員・・・人事課長 軽部幸雄、政策推進課長 彦坂哲、財政課長 中村有幸
 公共施設整備課長（次長） 飯泉定男
 出席者（取手市保育行政推進検討委員会設置要綱第5条第2項による）
 ……戸頭北保育所長 板倉智子、中央保育所長 吉山綾子

欠席委員 / なし

事務局 / ・子育て支援課（松崎、梅崎、中島、記録：山本）

- 次第 / 1. 開会
 2. 委員長あいさつ
 3. 議題
 (1) 第四次取手市保育所整備計画の概要について
 (2) 戸頭北保育所の廃止、中央保育所の民営化について
 (3) 公立保育所整備・管理について
 (4) その他
 4. 閉会

決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ／・戸頭北保育所の廃止時期の決定と公表、新規入所者の受入れ調整（停止・優先等）については、市長決裁前に庁議又は政策調整会議に諮り、その段階で実施する ・戸頭北保育所在園児の移籍に関する補助金については、令和2年度1,2月の補正予算にて要求することとする ・送迎ステーションはA街区の整備計画に併せて検討する
------	---

説明概略及び質疑・意見

(1) 第四次取手市保育所整備計画の概要について	
松崎 （事務局）	<p><u>説明概略</u></p> <p>第四次取手市保育所整備計画は令和2年度から令和6年度までの5ヵ年計画となっている。戸頭北保育所廃止の検討、中央保育所の民営化の検討、地域子育て支援センターの指定管理の検討が主な計画内容となっており、当委員会でご検討いただきたいと思います。</p>
	（質疑等なし）

(2) -1 戸頭北保育所の廃止について

<p>中島 (事務局)</p>	<p>説明概略 事務局案として、令和4年3月末での廃止を提案。 <理由> ①毎年修繕が必要なほど老朽化が著しく、子どもの安全確保が必要 ②保育士不足による待機児童問題対策として、待機児童が減る ③年間運営費 4000 万円（人件費除く）が節約できる <問題点> ①在園児の移籍先の確保が必要。移籍先が確保できないのであれば計画の延期の可能性もある。戸頭エリアに複数保育施設はあるが、それぞれ受入れ人数には限りがあるため、戸頭北保育所の保護者に対して、アンケートを実施、ニーズ調査を行う予定 ②民間保育園等に移籍すると園服や教材費の費用がかかる。その分は補助を考えている。ただし、英語教育代や絵本購入代等の月々係る費用については対象外 ③在園児の移籍先を確保するために、民間の保育所等を予約で枠を抑える場合には、民間に支給する給付費が減額して経営に影響がでるため、減額相当分（1人あたり90万程度）の補助も必要になってくる ④公立保育所の受け入れ先も検討しなければならない。公立保育所のニーズが高ければ、永山保育所の改修工事も必要となる可能性 ⑤在園児の移籍のタイミングも、補助要綱を即座に定め、今年度から移籍を促すか、戸頭北保育所の廃止時期まで待つか、検討が必要</p>
<p>彦坂課長 (委員)</p>	<p>個人的には一度に移籍させてほうが良いと思う。個別の事情も大事だが、勢いが大事。近年、廃止した園はあるのか。当時のスケジュールは。</p>
<p>中島 (事務局)</p>	<p>約10年前に台宿保育所の廃止があった。その時は廃止の前年12月に計画を策定し、年明けに保護者説明、個別面談等を実施し、翌年度の3月に廃止となった。当時は待機児童の問題もなかったうえ、近隣に公立保育所が複数あったので、全員が第一希望の保育所にいった。</p>
<p>彦坂課長 (委員)</p>	<p>特に配慮すべきなのは、徒歩で送迎しており、車も持っていないので、戸頭北保育所以外通うのが難しいという人。そういった人も納得していただけるような手立てが必要になる。実際にそういった人は何人くらいいるのか。</p>
<p>板倉所長 (出席者)</p>	<p>正確な人数はわからないがそういった人はいる。また、戸頭北保育所の利用者の中には、駅が近いからという理由で選んだ人もおり、園児を保育所に預けたらそのまま駅まで直行して通勤する人もいる。一番近くの戸頭東保育園に移籍した場合でも、5分、10分余計にかかるようになるので、そのあたりに不満を持つ保護者もいると思う。</p>
<p>稲葉部長 (委員長)</p>	<p>保護者向けにアンケートを実施するとの説明があったが、いつごろか。</p>
<p>飯野次長 (副委員長)</p>	<p>今年度の7月に第四次取手市保育所整備計画の概要説明をし、8月に廃止時期の説明とともにアンケートの実施についての説明をし、9月実施を予定している。</p>
<p>中村課長 (委員)</p>	<p>7月の説明会では、補助金について説明するのか。また、保育所の入所は月単位で行っているのか。早めに説明して、早めの移籍が良いのでは。</p>

飯野次長 (副委員長)	説明させていただこうと思う。入所は月単位で行っている。
彦坂課長 (委員)	園服や教材費等の入園児に係る経費に対する補助金については、園から請求をしてもらい、園に交付するかたちが良いと思う。保護者に交付するのであれば、保護者が一度支払い、請求手続きをしてもらうという手間が生じてしまう。
中村課長 (委員)	園服は保護者が代理店で買うのか。園が発注するのか。園が発注するようにしないと、その方法は難しいのでは。
中島 (事務局)	それぞれの方法があると思うので、確認が必要。
中村課長 (委員)	永山保育所改修工事のスケジュール及び概算費用は。
中島 (事務局)	アンケート結果を受け、12月補正予算に設計業務委託費を計上、今年度中に設計を完了させ、令和3年度に入ったらすぐ入札、令和3年度9月頃まで工事。最短でも10月から受入れ開始になると思う。概算費用については、細かく詰めていないが、ざっと算出すると、設計業務委託に50万円、工事費が1000万円程度の見込み。
中村課長 (委員)	在園児の移籍先として私立園の枠を確保する場合には、補助金が多くかかってしまう。なるべく、私立園の枠確保に対する補助金をかけずに移籍調整する方法を考えてほしい。
彦坂課長 (委員)	基本的に令和3年度の4月に移籍してもらうようにしたら良いのでは。 令和3年度中や令和4年度に移籍したいのということで枠だけ確保するとすると、移籍までの間ずっと補助金がかかってしまう。 また、年度途中の移籍より、4月移籍のほうが子どもたちの負担も少ないのでは。
松崎 (事務局)	ただ、永山保育所は現在空きが1名しかないので、改修工事を待つと令和3年度の10月以降になってしまう。
彦坂課長 (委員)	永山保育所希望者と、年長クラスの子たちは残留でも良いのでは。
軽部課長 (委員)	年度当初に移籍したいと思う人と、兄弟が年長クラスにいたりして、最後まで残りたいという人もいると思う。
中村課長 (委員)	兄弟で入所している人はどれくらいいるのか。
板倉所長 (出席者)	兄弟で入所している人はいるが、そんなに多くはない。 兄弟の問題もそうだが、令和3年度の4月にほとんどの人が移籍してしまった場合、行事等が今までとおりに行えなくなるのではないかと。
梅崎 (事務局)	4月にほとんどの人が移籍してしまったら、戸頭北保育所の職員が余剰になってしまう可能性があるが、年度途中に人事異動は可能か。

彦坂課長 (委員)	問題ない。
軽部課長 (委員)	問題ないと思う。毎月入所申込みを受け入れているが、戸頭北保育所の申込みは停止するのか。
梅崎 (事務局)	戸頭北保育所廃止の情報については、段階的な公表を考えている。現在は保育所の入所案内について、廃止時期は未定だが、廃止の計画があるとの説明はしている。8月の市長決裁で廃止時期の決定の後、廃止時期の公表、10月の廃止計画の市長決裁の後、受入れを停止することを考えている。
彦坂課長 (委員)	アンケート結果がでないとわからないが、意外と早めの移籍を希望する人が多いのでは。
板倉所長 (出席者)	ゆめみのエリアから来ている人が多いので、より近い永山保育所に行きたいという人は多いと思う。
彦坂課長 (委員)	民間保育園や公立保育所でそれぞれ受入れ人数に限りがあるということだが、できる限り各保育園の受入れ可能人数は公表してあげて、調整していったほうがお母さんたちも安心するのでは。また、現在の永山保育所の空きが1名ということだったが、それは保育士不足が原因か。
中島 (事務局)	保育室の面積の関係。そのため、永山保育所の改修工事で保育室の拡充を図り、全員は無理だが、ある程度の受入れ人数を確保する予定。全員分を確保するには、増築が必要になる。
飯泉次長 (委員)	増築するとしたら、園舎脇の畑だが、敷地形状等の問題で30㎡くらいしか確保できない。また、増築するには現行の保育所の改修も法律上必要になり、コストもひどくかかる。要するに、増築は可能だが、現実的ではない。 さらに、公共施設マネジメントの観点からも、面積は増やしたくない。
彦坂課長 (委員)	今年度9月にアンケートを行い、11月に個別面談を実施し、2月にアンケート結果の説明を行うスケジュールだが、これらはできる限り早めにおこなったほうが良い。 現在、利用者の廃止に対する反対の動きはあるのか。
板倉所長 (委員)	コロナ騒動もあり、いまは落ち着いているが、在園児の保護者で卒園までいさせてほしいという要望があるようだ(特に2歳児クラス)。ただ全員ではなく、市の決めたことだししょうが無いと思う人や、4・5歳児の保護者は関係ないと無関心な人もいる。
彦坂課長 (委員)	いずれにせよ、令和3年度末に廃止の予定というのは早めに出していったほうが良い。
稲葉部長 (委員長)	市長決裁より前に庁議に諮り、その段階で廃止時期の公表、受入れを停止するという手順で良いのではないかと。 (反対意見なし)
飯野次長 (副委員長)	移籍に関する補助金等に関して、今年度の財源確保はどのように進めるべきか。

中村課長 (委員)	大きな事業の話なので、配当替え等に対応するのは望ましくない。12月の補正予算で議会に諮るべき。10月末には金額を固め、移籍希望者の数等、予算要求根拠を整えてもらいたい。
板倉所長 (出席者)	戸頭地域子育て支援センターは、戸頭北保育所長がセンター長を兼務し、センターの職員は戸頭北保育所付けになっているが、廃止した場合どうなるのか。現在、支援センターの職員は保育所で給食を食べたり、早朝残留保育や、土曜保育にも参加してもらっている。
軽部課長 (委員)	現行の流れでいくと、永山保育所長がセンター長となり、永山保育所付けになる。
板倉所長 (出席者)	第四次保育所整備計画の中には地域子育て支援センターの指定管理について検討とあるが、戸頭北保育所の廃止に併せて、地域子育て支援センターだけ先行して指定管理に切り替えることはできないか。
飯野次長 (副委員長)	現時点では、4つの地域子育て支援センターを同時期に指定管理に切り替えることで、統一的な運営ができると考えている。
彦坂課長 (委員)	3人しかいない小規模な施設が指定管理者を募集しても、運営をしたがる業者は少ないと思う。それならば、4つの地域子育て支援センターをまとめて運営業者を募るほうが現実的かと思う。
稲葉部長 (委員長)	保育所は保育所、地域子育て支援センターは地域子育て支援センターと、そこは分けて考えたほうが良いのではないか。 (反対意見なし)

(2) -2 中央保育所の民営化について

中島 (事務局)	説明概略 中央保育所の民営化については、戸頭北保育所後廃止後、令和5年度から考えている。
飯野次長 (副委員長)	民営化については、令和3年度より選考委員会の謝礼費や共同保育に関する補助を政策経費として予算要求しようと思うがよろしいか。
中村課長 (委員)	スケジュール感や、金額も過去の民営化を参考に要求してもらえればと思う。
稲葉部長 (委員長)	民営化に対する保護者の反応はどうか。
吉山所長 (出席者)	子育て支援課より、民営化計画の説明に行った時に疑問点が解消したので、安心しましたという意見もあったが、コロナ禍のいま動きは落ち着いている。
飯野次長 (副委員長)	また、7月頃に保護者向けの説明会を実施するので、民営化とはどういうことか、今後スケジュールについて丁寧に説明させていただく。

(3) 公立保育所整備・管理について

中島 (事務局)	説明概略 ①ICTの導入スケジュールや、コロナ禍において出席管理やおたよりの配布等において非常に効果的であった。 ②令和5年度までの改修工事やエアコン改修、不審者対策工事等の計画を報告。 (質疑等なし)
-------------	--

(4) その他 (送迎保育ステーション事業について)	
飯野次長 (副委員長)	説明概略 市長の公約の中に送迎保育ステーションの整備が謳われており、それを受けてか送迎保育ステーションの早期実現に向けて事業者から話しが来たりしている。今後、どのように進めていくべきか委員の皆様のご意見をお伺いしたい。
飯泉次長 (委員)	資料の中に施設改修費とあるが、この内容は。
中島 (事務局)	主な内容は児童向けの設備を整えるための、内装工事費である。どこで実施するか、どの程度設備を整備するかによって金額は大幅に変わると思う。
彦坂課長 (委員)	基本的には行政の補助がなければ成り立たない事業であると思う。 ひとりあたりの利用者に対し、市の支出額が年に 100 万程度かかかってしまう。それに見合う効果があるか、費用対効果の試算を慎重にしなければならない。 もし、本当に各保育施設に送迎保育ステーションが必要であれば、共同バスを運営する等の方法もある。 市の宣伝料と考えれば良いと思う。 利用者の自己負担もあるのか。
中島 (事務局)	先進地の視察に行ったところでは、利用者にも自己負担はあり、月 1 万円程度だった。タイミングだけを考えれば、戸頭北保育所の廃止、中央保育所の民営化、待機児童対策としても良いと思うが、コストが問題。
中村課長 (委員)	現予算への上乗せは難しい。
彦坂課長 (委員)	先進地の事例は一般財源のみで、補助金はないのか。
中島 (事務局)	補助金もあるが、制限があるため、一般財源で対応しているところが多い。
稲葉部長 (委員長)	いまのところ、急いで整備する必要は感じられない。 A 街区の整備計画に併せて、検討していくということで良いのではないかと。 (反対意見なし)
その他	
稲葉部長 (委員長)	この委員会と並行して、児童福祉審議会が行われるが、情報共有として審議会の資料もこの委員会のメンバーに配布していただきたいと思う。 他にご意見がなければ、閉会とさせていただきます。 (閉会 15:05)

次回開催 / 令和 2 年 8 月下旬予定 (日程は決まり次第、ご案内します)

事務連絡
令和2年6月11日

取手市保育行政推進検討委員会委員 各位

福祉部長

第1回取手市保育行政推進検討委員会の開催について

日頃より子育て支援事業についてご協力いただきありがとうございます。
保育所の運営について、皆様のご意見を頂きたく、取手市保育行政推進検討委員会設置要綱に基づき取手市保育行政推進検討委員会を下記のとおり開催いたします。
業務多忙の折誠に申し訳ありませんが、ご出席のほどお願い申し上げます。

記

日時	令和2年6月24日（水）午後1時30分から
場所	新庁舎 301会議室
内容	1. 第四次取手市保育所整備計画の概要について 2. 戸頭北保育所の廃止、中央保育所の民営化について 3. 公立保育所整備・管理について 4. その他
構成委員	福祉部部長、福祉部次長、人事課長、政策推進課長、財政課長、 公共施設整備課長 ※ 都合の悪い場合は代理の方の出席をお願いします。 5条2項による者 戸頭北保育所長、中央保育所長

【問い合わせ先】

子育て支援課
松崎（内線 1340）

第1回取手市保育行政推進検討委員会

日時 令和2年6月24日(水)
13時30分から
場所 新庁舎 301会議室

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 内容

- (1) 第四次取手市保育所整備計画の概要について
- (2) 戸頭北保育所の廃止、中央保育所の民営化について
- (3) 公立保育所整備・管理について
- (4) その他

4. 閉会

戸頭北保育所廃止及び中央保育所民営化の時期について

令和元年度3月に策定された第4次保育所整備計画において、令和2年から令和6年度の間、戸頭北保育所の廃止と中央保育所の民営化が決定した事を受け、廃止・民営化の具体的な時期・計画について検討したい。

戸頭北保育所廃止時期について

戸頭北保育所においては、老朽化対策・待機児童対策・財政状況を勘案し、令和4年3月に廃止を計画したい。

〈方向性〉

①老朽化について

戸頭北保育所は昭和50年に建築された旧耐震基準の建築物であり、吉田・舟山保育所がなくなった今年度、最も老朽化が著しい保育所になる。令和元年度軒裏修繕、今年度給水修繕を行うなど、毎年の様子に改修を行っている。児童の安全・安心を考えれば、早急に廃止・取り壊しを行いたい。

②待機児童について

パブリックコメントにおいて、待機児童がいるにも関わらず廃止することに反対意見が出たが、現在の待機児童は保育士不足によるものであり、戸頭北保育所の保育士が他の公立各保育所の不足を補うことで、待機児童のメインである0～2歳児クラスの不足の多くを補うことが可能である。

保育士不足による受入れ停止定員数（R2.2調べ） 令和元年代機児童数

	永山	なないろ	白山	中央	久賀	計
0歳児	3	19	9	4	5	40
1歳児	2	5	9	0	4	20
2歳児	1	8	1	4	4	18

	4月	10月	3月
0歳児	4	32	66
1歳児	11	6	14
2歳児	0	2	8

令和2年2月時点の戸頭北保育所の職員数は17人であるため、現在待機児童数が多い0・1歳児に重点的に割り振るのであれば、0・1歳児が60人入所可能という試算となる。

③財政状況について

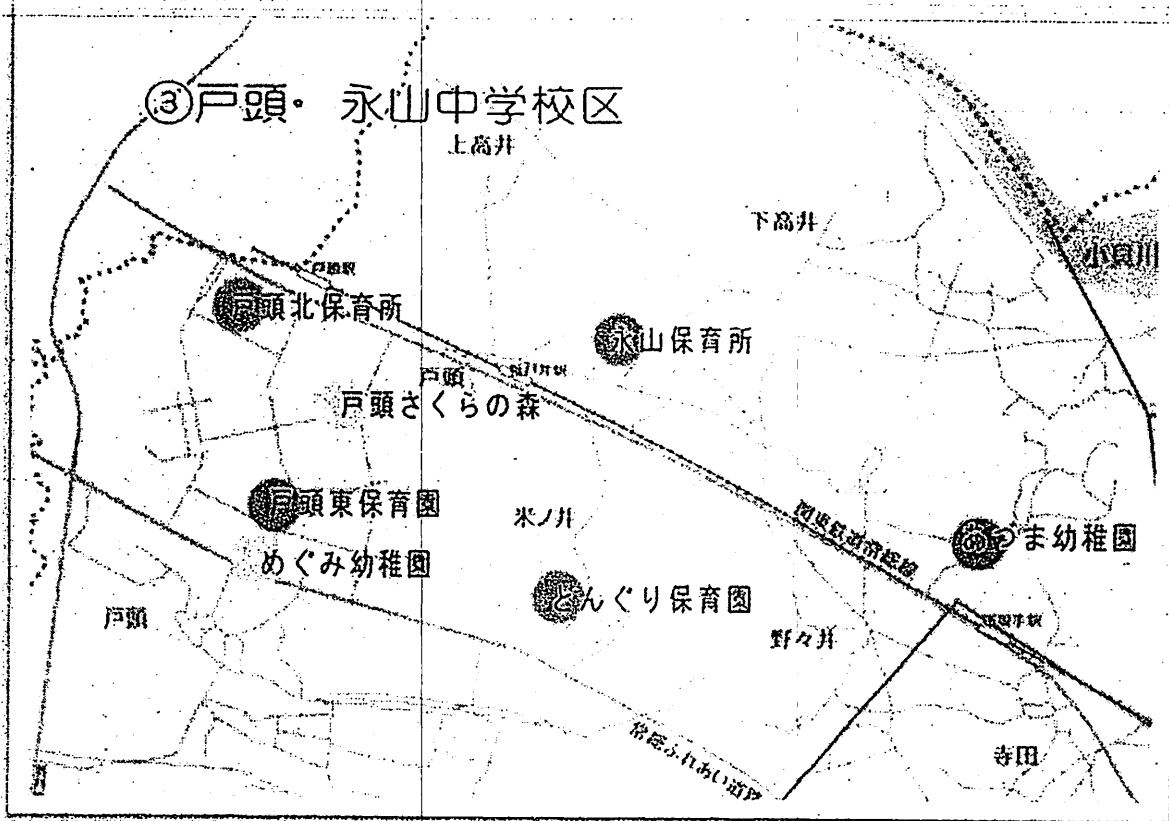
戸頭北保育所を廃止することによる経費削減額は、およそ年間4,000万円となっている。これは、待機児童の対策のため保育士の人件費（正規職員・会計年度任用職員）を対象外とした運営費になるが、人件費の精査を行うことでさらに増額が見込まれる。戸頭北保育所の入所を来年度より停止し、園児の卒業を待つ場合、一年につき4000万円を最大で令和7年度年まで支出することになる。財政状況を考えると、児童の移籍を促し早期に廃止を行いたい。

〈対策〉

戸頭北保育所児童の移籍について

保育所を廃止することにより最も危惧されるのが、現在通園している児童の移籍先の確保である。保護者に納得して廃止を受け入れていただく為にも、移籍先の確保は慎重に行いたい。また、移籍先の確保が出来ない場合は、廃止時期の延長を検討する必要がある。

戸頭・永山中学校区 保育施設位置図



①アンケート・面談の実施について

保護者のニーズを知るために、保護者アンケートを実施し、第一希望～第三希望までを調査する。また、アンケート結果を元に個人面談を行い、移籍先について今年度中に内定を出し、来年度申請を行う。

②私立園に移籍する場合の補助金策定について

戸頭地区には、戸頭東保育園・戸頭さくら幼稚園・めぐみ幼稚園・あづま幼稚園と多くの私立園があるが、園によっては制服や教材費など公立に比べて入園準備費がかかる為、それを危惧する保護者も多い。移籍をお願いする保護者の負担軽減のため、移籍準備にかかる補助金を策定したい。

また、私立園に移籍する場合、前もって入所可能な定員を抑えて移籍分を確保が必要になると、本来施設がもらえる運営費にも影響する。移籍対象者の定員の確保にご協力いただいた私立園に対して、運営費相当を補助することも検討したい。

入所にかかる経費		
公立保育所	カラー帽子	1,000 円
		1,000 円
戸頭東保育園	体操服・帽子等	10,000 円
	保育用品(クレヨン他)	5,000 円
		15,000 円
戸頭さくら幼稚園	制服代(3歳以上)	33,000 円
	保育用品(クレヨン他)	9,000 円
		42,000 円
めぐみ幼稚園	制服代(3歳以上)他	20,000 円
	保育用品(クレヨン他)	8,000 円
		28,000 円
あづま幼稚園	制服代(3歳以上)	27,000 円
	保育用品(クレヨン他)	7,000 円
	入学金	25,000 円
		59,000 円

年間必要経費(初期経費除く)	
3歳延長なし	
公立	62,400 円
戸頭東保育園	66,000 円
戸頭さくら幼稚園	116,952 円
めぐみ幼稚園	92,400 円
あづま幼稚園	130,200 円

③公立保育所の定員確保について

戸頭北保育所の多く保護者が、移籍先も公立を希望することが考えられる。しかし、現在の永山保育所では追加で受け入れられる人数は少ない。特に4・5歳児クラスについては、私立園においても空き定員は少なく、各園にばらばらにならなければ移籍先を確保出来ないことが想定される。アンケート結果にもよるが、永山保育所のニーズが高かった場合、永山保育所の内部を改修し、4・5歳児の定員を確保したい。

	0歳児→2歳児	1歳児→3歳児	2歳児→4歳児	3歳児→5歳児
戸頭北移籍児童数	2名	12名	16名	13名
永山保育所空定員 (改修後)	11名 (8名)	7名	4名 (12名)	1名 (13名)
戸頭東保育所空定員	20名	6名	3名	4名
戸頭さくら空定員	12名	1名	3名	3名
めぐみ空定員	9名	6名	3名	3名
あづま空定員	7名	5名	9名	1名

今年度のスケジュールについて

令和4年度3月に廃止する予定で計画をする場合、来年度の4月の募集時期である11月までには児童の移籍希望状況を把握し、廃止計画を策定したい。また、保護者・児童福祉審議会・市議会・園長会議等外部への公表についても慎重に検討したい。

令和2年度 戸頭北廃止計画スケジュール

R2.6.24

	戸頭北保育所保護者対応	子育て支援課事務局	関係機関
6月		第1回 保育行政推進検討委員会 戸頭北廃止時期の検討 令和3年度予算計画 補助金策定等	
7月	第1回 戸頭北保育所保護者説明会 第4次保育所整備計画について説明		児童福祉審議会 廃止時期の検討 移籍に関するアンケートの実施について
8月	第2回 戸頭北保育所保護者説明会 廃止時期の説明・移籍先アンケート実施について	廃止時期の起案・市長決裁 第2回保育行政推進検討委員会 戸頭北廃止計画(案)の検討	
9月	保護者移籍先アンケートの実施		9月議会にて廃止時期報告
10月		第3回保育行政推進検討委員会 戸頭北廃止計画の決定→ 市長決裁	2日 所長園長会議 廃止時期の報告 廃止計画(案)のについて 児童福祉審議会 廃止計画(案)の審議
11月	保護者面談の実施 ・移籍希望や不安点などの聞き取り ・令和3年度移籍予定者の調整	入所案内配布 戸頭北について特記	
12月	私立園の受け入れ先調整	令和3年度4月入所受付開始	移設希望施設との個別調整
1月		入所判定会議 戸頭北保育所・永山保育所の定員制限の実施	
2月	第3回 戸頭北保育所保護者説明会 アンケート結果の説明と来年度の予定について		
3月			